



東海三県を水で結ぶ - 木曾川用水

Vol. 89

2022・10月

水がささえる豊かな社会



独立行政法人水資源機構

発行：木曾川用水総合管理所

〒495-0036

愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1

TEL 0587-97-3710 (代表)

FAX 0587-97-1482

ホームページアドレス

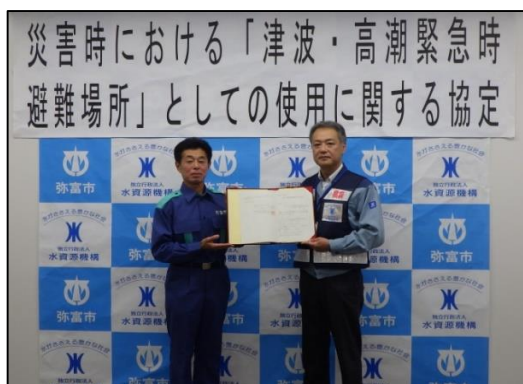
<http://www.water.go.jp/chubu/ki-sogawa>

## 弥富市と災害時における管理所使用に関する防災協定を締結しました

令和4年6月27日(月)弥富市と災害時における「津波・高潮避難場所」としての使用に関する協定を締結しました。

弥富市は海拔0メートル地帯に位置し洪水や津波による浸水被害が想定されており、高層の建造物が少なく、災害時における避難箇所が限られた地域で、特に弥富管理所が位置する弥生地区は、河川堤防沿いの低層住宅地で避難場所確保を課題とされていました。このことから、大規模な地震による津波あるいは台風による洪水・高潮等の災害が発生した場合または発生する恐れがある場合において、弥富管理所を「津波・高潮緊急時避難場所」として市民の受入れ先にしてほしいと弥富市から要請があり、協定を締結しました。

当日は市役所において弥富市の安藤市長、副市長、総務部長、木曾川用水の齊藤所長、副所長、弥富管理所長の出席のもと、協定締結式を行いました。



協定締結



署名の様子

## 木曾川用水・長良導水管理運営協議会開催

令和4年6月16日に東海農政局、中部経済産業局、愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、各務原市、八百津町、関係土地改良区、学識者及び水資源機構で構成する「第40回木曾川用水管理運営協議会」を中部支社にて開催しました。7月20日には愛知県企業庁、学識者、水資源機構で構成する「第25回長良導水管理運営協議会」を同様に開催しました。

協議会において、水資源機構から諮問する令和4年度配水計画(案)、令和4年度管理業務予算(案)及び令和5年度管理業務必要額(案)についてご審議いただき、原案どおりご承認いただきました。

当該配水計画及び管理業務予算を以て、「安全で良質な水を安定して安くお届けする」経営理念の達成に向けて、令和4年度も引き続き、適正かつ確実な管理業務に努めてまいります。



協議会の状況



## 環境水路の生き物調査に参加しました!!

雨が続き開催が危ぶまれましたが、七夕である7月7日(木)に、美濃加茂市立山之上小学校4年生の児童18名が、学校付近の環境水路において、「生き物調査」が開催されました。機構からは、美濃加茂管理所より2名が参加しております。生き物の講師「安藤先生」とともに児童は水路に入り、カワムツやスジエビなど合計22種類の生き物を採取しました。特にカワニナが多く採取され、時期によっては蛍の成虫が観測されるそうです。

岐阜県可茂農林事務所から環境水路の目的・役割、木曾川右岸用水土地改良区連合と機構より農業用水路について講義を行いました。

水路に生息する生き物の種類より、川の水質が良好であること、川のはたらき、水の大切さを学ぶきっかけにもなったと思います。

児童たちは野外での生き物採取に、目を輝かせ、楽しい勉強会になりました。



生き物の採取状況



何がとれたかなあ

## 木曾川堤防清掃と総合管理所見学会を開催!

総合管理所と近隣の稲沢市立長岡小学校は社会教育の一環で全学年(年3回に分けて)による木曾川河川堤防の清掃活動と4年生を対象とした総合管理所見学会を毎年実施しています。

令和4年5月31日(火)の河川堤防清掃活動では1・6年生の38名が参加し、堤防のゴミ拾いを行いました。木曾川用水総合管理所は児童が怪我や事故に巻き込まれないようにこの活動のサポートを行いました。

令和4年6月22日(水)の総管見学会には4年生の20名が体験学習に訪れ、水の大切さ、施設の重要性・必要性などを学びました。全体での「水クイズ」の後、2班に分かれて、木曾川大堰操作室・屋上見学と水路模型実験の体験により木曾川用水の仕組みを学んでもらいました。

地元小学校との連携を深めて、地域貢献と木曾川用水のアピールに努めています。



清掃後の集合写真



総合管理所見学会





## 就業体験実習の受け入れ（インターンシップ）

木曾川用水総合管理所では、令和4年度のインターンシップとして、8月22日（月）～26日（金）の1週間、近畿大学工業高等専門学校から1名の実習生を受け入れました。

実習では、木曾川用水事業の概要説明の後、上流部の木曾川右岸施設や、下流部の濃尾第二施設を見学し、予備発電設備などの電気通信設備とゲート設備などの機械設備の点検、蜂屋調整池の堤体観測などを体験してもらいました。

また、木曾川用水の水源となる岩屋ダムの見学や、中枢となる操作室で全地区の用水計算などを体験してもらうことで、木曾川総合用水事業としての水源施設と用水路施設の重要な関係性についても学んでいただきました。最終日には、実習の集大成として1週間の成果をとりまとめ、実習成果や体験で得た感想などを職員の前で発表してもらいました。

今回の実習は、1週間と短い期間であったため濃密なカリキュラムで実施しましたが、実習生が非常に真面目に取り組んでいただいたことや、地元出身地からの参加ということもあり、期待した成果を十分に達成できたのではないかと思います。



木曾川大堰ゲート設備の点検



操作室業務（用水計算等）の実習

## 中部管内若手職員研修の実施！！

令和4年5月19日（木）中部管内の入社2～3年目の若手職員を対象とした研修が実施され、21名の職員が木曾川用水総合管理所へ来所し、施設見学を致しました。主な内容として、木曾川用水事業の概要説明、施設見学では操作室にて配水管理、施設操作の内容について説明を行い木曾川用水について勉強していただきました。

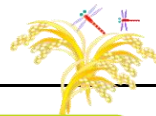
参加者からは「自身の事務所以外の施設について、説明を聞く機会がなかったことから、施設がどのような役割を果たしているのか、概要説明や見学を通して大変勉強になりました」等の感想をいただきました。



講義状況



操作室での説明



# 令和4年度優良工事等の表彰を行いました

8月1日(月)に総合管理所において、令和3年度に完成した工事・業務の中で、特に優れた成績を収めた工事・業務の受注会社並びに技術者を表彰しました。例年は、総合管理所において「優良工事等表彰式」を執り行っておりますが、今年度も新型コロナウイルス感染予防の観点から表彰式は行わず、表彰状の送付とさせていただきます。令和4年度の優良工事等の受賞者は以下のとおりです。

◆優良工事表彰：

弥富揚水機場監視制御設備更新工事 木曾川大堰上屋(P2・P3)改修工事  
株式会社 荏原製作所中部支社 株式会社 川瀬組

◆優秀工事技術者表彰：

弥富揚水機場監視制御設備更新工事  
縣 頼明 様(株式会社荏原製作所中部支社)

◆優良業務表彰：

坂祝支線水路管内調査業務  
株式会社 葵エンジニアリング

◆優秀技術者表彰：

坂祝支線水路管内調査業務  
佐々木 敦朗 様  
(株式会社葵エンジニアリング)

◆安全管理優良工事表彰：

木曾川大堰調節2号ゲート整備工事 木曾川大堰上屋(P2・P3)改修工事  
佐藤鉄工株式会社名古屋営業所 株式会社 川瀬組



☆おめでとうございます。

# 交通安全講習会(第1回)を実施しました!

令和4年7月28日(木)稲沢警察署から講師を招き、交通安全講習会を開催しました。本講習は、木曾川用水に勤務する職員等を対象に、安全運転及び運転に対する責任等の意識を高めるため各年度2回実施しております。

講師の講話及びDVDの上映を通じて、自分自身や、子どもを始めとする大切な家族の交通事故を防止するために、常日頃から意識すべきことや取り組むべきことについて学ぶことができました。

これからも事務所一同交通事故防止に努めてまいります。



講習会の様子

お知らせ

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキや当管理所ホームページ「お問合せ・ご意見」からどしどしお寄せ下さい。

また、施設見学をしてみませんか。事業の説明にも伺います。希望される方はお気軽に連絡して下さい。

9月1日より「濃尾第二施設改築事業推進室」が弥富市内で業務を開始しました。場所等は下記を参照して下さい。



木曾川用水総合管理所

〒495-0036  
愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1  
TEL (0587) 97-3710 FAX (0587) 97-1482

最新情報はこちらへ

ホームページ <http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa>

又は 【うるおい木曾】 で検索してください。

出先管理所等

濃尾第二施設  
改築事業推進室

〒498-0007 愛知県弥富市鎌倉町95 海部土地改良区会館2F  
TEL (0567) 55-9173 FAX (0567) 55-9174

美濃加茂管理所

〒505-0021 岐阜県美濃加茂市森山町4-9-20  
TEL (0574) 25-2121 FAX (0574) 28-3354

弥富管理所

〒498-0014 愛知県弥富市五明3-15  
TEL (0567) 65-1650 FAX (0567) 65-0445

長良導水管理所

〒511-1143 三重県桑名市長島町西外面1026  
TEL (0594) 42-5671 FAX (0594) 42-5674

編集部・発行